

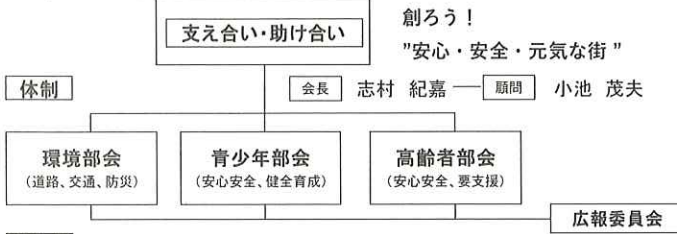
小域福祉ネット

牛久

第 27 号
令和 3 年 8 月
発行
牛久小学校区
小域福祉ネットワーク
広報委員会
2 月・8 月発行
発行責任者
志村 紀嘉



牛久小学校区小域福祉ネットワークのかたち (体制と進め方)



- 進め方
① [部会等での活動]
② [全体での活動]
③ 上記 ①②の二本立てで活動



少子高齢化や核家族化など社会情勢の変化に伴い地域での課題が出てきた。市では、平成十八年に「市原市社会福祉計画」を策定した。そこには、地域住民が主体となり、各小学校区(四十六小学校すべて)に小域福祉ネットワークを設置し

令和三年度の抱負

今年度の総会は、「なのはな館」で五月二十九日に開催された。会員五十四名の出席のもと、令和二年度の事業報告・収支決算報告及び会計監査報告の後、令和三年度の事業計画・予算の説明があり、いづれも満場一致で承認された。続いて、理事及び監事・部会役員についても承認された。

令和三年度 総会開催される



牛久小学校区 小域福祉ネットワーク 会長 志村 紀嘉

地域の実情に応じた活動がはじまった。高齢者、障害者、子どもをはじめ誰でも住み慣れた地域で自立して暮らせるまちづくりをめざした。

牛久小学校区小域福祉ネットワークは、平成十九年一月に設置された。三部会(環境・青少年・高齢者)、広報委員会、安心生活見守り支援事業等の活動を行っている。

支え合い、助け合い、創ろう 安心・安全・元気な街!!

この活動を支えるのは、地域のみなさんです。肩力を入れずに、気軽に参加して下さい。新型コロナウイルスは、変異株の増加もあり感染者数も急増し、緊急事態宣言が八月三十一日まで発せられた。コロナ禍であったも福祉活動は止めず、感染防止に十分注意・計画して活動の心掛けして下さい。



南総地区災害対策本部長 山本 義雄 事務局電話 090-2641-7047

令和元年の風水害をきっかけに設立した「南総地区災害対策本部」は、災害対策意識の一体感の醸成と連携強化のための活動を補強し今年度の活動を開始しました。特に情報の収集・発信、また大規模災害時の避難所運営の基本は従来通りです。小域福祉ネットの活動の源泉である、支え合い、助け合い基本の「共助の大切さ」を皆様とともに進めたいと考えています。ご協力よろしくお願ひします。

南総の災害 対策について

今年も本格的な猛暑の時期となりこの猛暑も災害のひとつと捉えるレベルまで考えられます。こうした気候変動の時代のなか、各地で豪雨・長雨が予想され、地震災害とともに身近に迫る災害に、このコロナ禍のなかでどう向き合うかが、「創ろう! 安心・安全・元気な街」をスローガンに掲げ活動する私たちの重要課題でもあります。

福祉ネット牛久



医光寺本堂

閑(しずか)さや
岩にしみ入る蟬の声
芭蕉

正にそのように、夏の境内では木陰からのニイニイゼミの声が柔らかに緑陰に吸い込まれています。
二〇一一年にNHK大河ドラマで放送された「江姫たちの戦国」の中で、浅井家に深く関わる歴史に育まれ、今や地域に根差した自然体で構える伽藍の密教寺院。その医光寺をお一人お一人が真つさらな気持ちでお訪ねになる時を想定して、ここでは透明感を大事に、紀行文体によらず、簡明にご案内いたします。

中尾山 医光寺

私達の住む牛久地区には数え切れない程の伝統的な文化および芸能があります
今回はその九弾です

市原市西国吉の医光寺は、文明元年(一四六九年)に創建された、近江小谷城主浅井一族ゆかりの真言宗豊山派のお寺です。

○本尊：薬師如来(伝源信
|| 恵心僧都「平安時代中期」作)

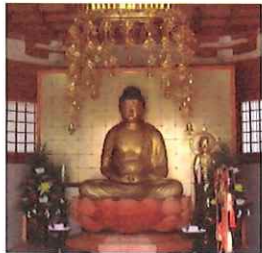
○薬師堂(瑠璃光殿)：薬師如来像、弘法大師像(一六八二年の作)・興教大師像(一七〇三年の作)、浅井・三好累代位牌、檀信徒先祖位牌、崇源院(※)木像等を安置し、納教庫を有す。

※崇源院：浅井直政公と市の方(織田信長の妹)の間の三女にして徳川第二代将軍秀忠公の正室。「一般には「江(こう)」、「小督(おごう)」、「江与(えよ)」として知られる。



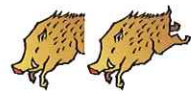
崇源院木像(瑠璃光殿内)

○阿弥陀堂(無量光殿)：平成一七花落慶。檜材八角造りの永代供養堂である。



阿弥陀如来木像(無量光殿内)

あいあい広場



地域を守る 西国吉のイノシシ対策

イノシシによって農作物が荒らされた、家の裏庭に出没し人が近づいても逃げず恐怖を感じた等の話を受けた、二〇一五年有害獣対策委員会が町会の下部組織として発足、今迄個人的に捕獲していたが、町会として捕獲活動をするようになった。



西国吉有害獣対策委員会のみなさん

当初年間、二〇頭程度でしたが、最近では五〇頭強の捕獲をしており、夏には捕獲したシシ肉を利用しバーベキュー大会なども催しています。またイノシシの棲家は山奥ではなく、我々のすぐ近くの耕作放棄地であるとの指導を受け、二〇一九年五万五千㎡、二〇二〇年十一万㎡、今年は二万㎡程刈り取ったところ出没もめっきり減ったように感じる。何よりもお年寄りや子供達が被害にあわないよう、そして農作物が荒らされないようにしっかりと捕獲活動等続けていきたいと思います。

西国吉有害獣対策委員会

○阿弥陀如来木像：市有形文化財指定

参考資料
『ご案内』 医光寺
『市原郡誌(復刻)』

① 「山は廻りて 緑濃く」

② 「青春の日を生きゆかむ」



①は千葉県立市原高等学校校歌、②は千葉県立幕張東高等学校校歌の一フレーズです。
両校歌とも作詞は故市原雄忍(佐伯薫氏、すなわち元千葉県立高等学校長にして医光寺先代御住職)によります。
ここに感じられる光と伸びやかさが、医光寺の境内に立ち入った時に身の内から湧く希望と安らぎ、また、受ける自然且つ泰然とした教えに通じているように思われます。

編集後記

今年の「八坂祭り」はコロナ禍で中止と聞いていましたが広報の編集作業期間、牛久囃子の心地よい響きが聞こえてきました。永年の伝統を継続するため、子どもたちへの指導は続けるとのこと。牛久小学校区の小域福祉は、こうした時代の起点をあらためて思い起こし、太鼓と笛の音に思い合せながら、新たな使命を感じました。

山本 義雄 【広報委員長】